

鹿島神宮奉納

居合抜刀道

第二回鹿島大会



武の理合とは、自然の法則

で日本人が生きていく正道。全ての理は**一源**。日本の文化遺産である武之道の修業とは、**武神**、鹿島宮の下で鋭く研ぎ澄ました感性と豊富な知性を養い、運動能力に富んだ肉体に、**勇氣と共に強靱な精神**

力で結合させる作業である。「術」とは物理的な業。その「術」に**氣の流れと武心を添えて**「道」に進化させたい。そんな「道理」を求めて融合の理合に基づいた修業が**滲み出て**

くる時に、鹿島流の醍醐味は形や技でもなく、精神と理合から発する**武心**である事に**氣付く**。

流れを大切に良き伝統は残し**悪しき慣習は絶つ**。これが鹿島之道と心得る。この国の先達が創造した**撓やかな思考**に培った不動の哲学は素晴らしい。鹿島で学ぶ武之道は日本の哲学である。

居合抜刀道 鹿島神宮奉納大会

行事内容 「植木一門会」 八道場対抗戦

修道館 (栃木県真岡市)

修善塾 (福島県郡山市)

武山會 (埼玉県秩父市)

修和塾 (茨城県坂東市)

相武旭燦會 (東京都町田市)

飯塚道場 (神奈川県相模原市)

新・東京劍友會 (東京都港区)

日時 平成二十八年十月十六日 日曜日

午前九時 武徳殿にて受付開始

午前十時 正式参拝 (本殿)

午前十一時 奉納演武

午前十二時半より午後三時まで大会催事

午後四時より直会 (懇親会)

会場 鹿島神宮 武道場 武徳殿

主催 「植木一門会」

共催 一般社団法人 武道振興會

平成二十八年十月十六日

於 鹿島神宮 武徳殿